

月刊「ワークホームだより」12月号

発行:2025年 11月 25日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331

TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

Instagram



@WORKHOMETAKASAGO



現場が輝いてこそ、崇高な理念や素晴らしい建物も価値を持つ vol.4

～ 自閉症総合援助センターの一躍を担う ～

副施設長 亀山 隆幸

シーツ班の8割は自閉スペクトラム症の利用者

12月開催の法人事例研究会の論文で、楠課長と共著で「わくわく  ワークホームづくり - アクション 2025 -」を投稿した。



私は2年前、14年振りにWH配属となり、シーツ班の顔ぶれを見た時、「ほぼ、自閉スペクトラム症の利用者！」と驚いた。ワークホーム高砂の強みのひとつに、楠課長はこのシーツ班における自閉スペクトラム症の利用者の頑張りを触れている。毎日3,000枚以上のシーツ等を出荷されている。以下、論文や作業に入っている支援員との雑談から、シーツ作業が持つ要素をポイント的にまとめてみる。

【ポイント】

- 1 投入そのものが **<魅力>**
- 2 機械が **<作業指示>**を出してくれている
アームが順番に降りてくる = 「シーツをアームに掛けて下さいヨ」の指示
- 3 機械が **<作業リズム>**を作ってくれている
一定のリズムを1日5時間以上、保つことは容易ではない。メトロノームのように決まった時間間隔でアームが降りてくる。これに瞬時に対応する=安定した作業リズム。
- 4 目の大型機械が周りの不要な刺激を遮り、**<すべきことを明確化>**

もちろん、機械だけで成り立つわけではなく、「最初にしっかり正しい形を教える」という導く支援者の存在があつてのことである。

また、ワークホーム高砂オリジナルの工程、<前出し (by 楠)>によって、投入者が無駄なく投入できるよう、全面的に支えてくれている。<前出し>は自分で作業リズムを作らないといけない為、投入より難しいと皆、口々に言っている。でも、自閉スペクトラム症の利用者が行っているリアルがワークホーム高砂にはある。

12月の予定

12月20日(土) クリスマス会

12月27日(土) 作業日

12月29日(月) 最終作業日

1月5日(月) 作業初め



播淡地区研修



播淡地区委員会の委員長を務める野村さんの企画で、ASハリマアルビオンの代表取締役社長の岸田様に講師として来てもらい午前は講義をして午後からは体を動かした運動を行ないました。

講義ではコミュニケーションの大切さを学びました。特に印象に残ったことは会話では「相手に緊張させないこと」という言葉が心に残りました。

今後にしっかりと活かせるように意識して利用者さんたちとコミュニケーションを取っていきたいと思います。(吉永)



懇談会



11月1日から懇談会を実施しています。個別支援計画の見直しをおこない、普段聞けないご家庭での様子やワークホームへのご意見やご要望をたくさん聞かせていただきました。利用者さんの将来のため、また、ワークホームに通うのが楽しいと思ってもらえるよう今回お聞きしたご意見やご要望を支援に活かしていきたいと思います。(野村)

今回の担当は重田でした

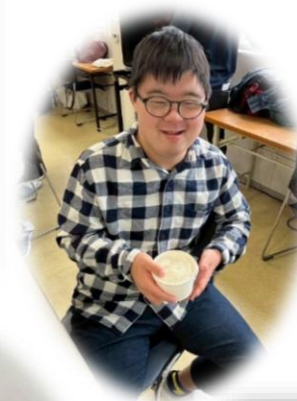




稲刈り・バーベキュー

11月1日(土)に前橋農園の前橋さんご協力の元、恒例となりました稲刈りとバーベキューを行いました。今年は当日快晴だったものの前日の雨が影響し、足場が悪い中での稲刈りとなりました。皆さん長靴を履いて田んぼの中に入られ、慣れた様子で稲刈り体験を楽しまれていました。待ち時間はおにぎりを作っていました。

バーベキューでは保護者会役員の方が中心に準備をおこなっていただきました。どの網の前にも列ができて皆さん満足そうにお肉や魚介、新米をほおばっておられました。実りの秋ということで皆さんいっぱい食べて元気にお仕事を頑張してほしいと思います。(重田)



東はりま特別支援学校見学

11月5日(水)に東はりま特別支援学校高等部の1年生20名の方が見学会に参加されました。初めて作業事業所の見学をする方や中部時代から見学に来ている方も多数おられました。

働いている様子を見学した時は皆さんとても熱心に聞いており、実際に防水を畳む体験もしていただきました。

また、今年度は東はりま特別支援学校から6名の方がワークホーム高砂で働き始めたこともあり、代表で2名に働いている感想を発表していただきました。発表している様子を見て先生方からは見違えるように成長していてとても感動しましたと言っておられました。

今回の見学会で働くことに興味を持ち、ワークホーム高砂が選択肢の一つになってくれればうれしく思います。(長瀬)

